

研究活動一覽

(本誌掲載分省略)

関下 稔(朝日 稔)

著書

- | | | |
|--|---|----------|
| 『現代多国籍企業のグローバル構造
- 国際直接投資・企業内貿易・子会社利益の
再投資 - 』 | 文眞堂 | 2002年 |
| 「国際経済システムとナショナルインタレスト」
(共著) | 日本国際経済学会編
『IT時代と国際経済システム
- 日本国際経済学会の成果を
踏まえて - 』第10章 有斐閣 | 2002年12月 |

論文

- | | | |
|--|------------------|---------|
| 「アライアンスキャピタリズムの実相 - 多国籍企業
のアジアへの進出と多様な結合関係の形成 - 」 | 『立命館国際地域研究』第19号 | 2002年2月 |
| 「多国籍企業と途上国地場企業の多様な結合と
その含意 - TNC SMEリンケージを中心にして - 」 | 『世界経済評論』2002年7月号 | 2002年7月 |
| 「グローバル化の進展と
アンチグローバリズムの試み」 | 『世界経済評論』2002年8月号 | 2002年8月 |

安齋 育郎

著書

- | | | |
|---------------|-------|---------|
| 『科学と非科学の間』 | 筑摩書房 | 2002年8月 |
| 『霊はあるか』 | 講談社 | 2002年9月 |
| 『平和学がわかる』(共著) | 朝日新聞社 | 2002年9月 |

論文

- | | | |
|--|--------------------------------|----------|
| 「過去に誠実に向き合う - 和解と共生をめざして」 | 『立命館平和研究』第3号 | 2002年3月 |
| Analysis of Tomographical Information of Tracer
Distribution by Using CdZnTe Semiconductor-
Based Gamma Counter Equipped with Coded
Aperture (共著) | Radioisotopes
Vol.51, No.11 | 2002年11月 |

その他の文筆活動

- | | | |
|-----------------------|-------------------------------|---------|
| 「西大門刑務所歴史館を訪ねて」 | 『立命館大学国際平和ミュージアム
だより』第9巻3号 | 2002年3月 |
| 「粉塵の人面, 病院の幽霊, 役所の鬼門」 | 『上方芸能』No.143 | 2002年3月 |
| 「幻の幻術」 | 『上方芸能』No.144 | 2002年6月 |

立命館国際研究 15-3, March 2003

- | | | |
|-------------------------|-------------------------------------|----------|
| 「ワールドカップ, 終わる」 | 『立命館大学国際平和ミュージアム
だより』第10巻1号 | 2002年8月 |
| 「原爆忌全国俳句大会の歴史と展望」 | 『俳句人』No.496 | 2002年8月 |
| 「テロ事件以降のアメリカと日本の有事法制」 | 『大阪保険医雑誌』No.426 | 2002年8月 |
| 会長声明「NHK『奇跡の詩人』の放映について」 | 『JAPAN SKEPTICS
NEWSLETTER』No.47 | 2002年9月 |
| 「もし霊があったら」 | 『上方芸能』No.145 | 2002年9月 |
| 「幽霊の足」と「神の手」 | 『上方芸能』No.146 | 2002年12月 |
| 「核と環境 - 核兵器廃絶とその主体性」 | 『俳句原点』No.105 | 2002年12月 |

及川正博

編注

Issues of Global Concern 金星堂 2002年1月

論文

「経済発展と環境問題」 『越境する資源環境問題』
日本経済評論社 2002年7月

翻訳

「持続可能な発展のための教育
- その起源, 理念および現状 - 」 『越境する資源環境問題』
日本経済評論社 2002年7月

大島堅一

著書

The State of the Environment in Asia 2002/03
(共著) Japan Environmental Council 2002年
Springer - Verlag

『人間環境科学論』(共著) 静岡大学農学部 2002年

『環境再生』(共著) 有斐閣 2002年

『越境する資源環境問題』(共著) 日本経済評論社 2002年

調査報告

「第7回気候変動枠組条約締約国会議」 『環境と公害』第31巻4号
岩波書店 2002年4月

「エネルギー政策の転換」 『環境と公害』第32巻1号
岩波書店 2002年7月

学会発表

「京都メカニズムの運用ルール」(共同) 日本環境学会 2002年6月

「フィリピンにおける軍事基地による環境被害(1)」 日本環境学会 2002年6月

「フィリピン・米軍基地跡地における環境被害」(共同) 環境経済・政策学会2002年大会
366 (664) 2002年6月

書評

- | | | |
|-------------------------|-------------------------------|----------|
| 高村ゆかり・亀山康子編『京都議定書の国際制度』 | 『環境経済・政策学会年報』
第7号 東洋経済新報社 | 2002年 |
| 高村ゆかり・亀山康子編『京都議定書の国際制度』 | 『人間と環境』(日本環境学会)
第28巻3号 水曜社 | 2002年10月 |
| 高村ゆかり・亀山康子編『京都議定書の国際制度』 | 『環境と正義』
環境法律家連盟 | 2002年11月 |

その他の文筆活動

- | | | |
|---|---|----------|
| 「アジア環境情報ガイド 軍事と環境」 | 『環境と公害』第32巻1号
岩波書店 | 2002年7月 |
| 「日本の京都議定書批准」 | 『経済セミナー』
日本評論社 | 2002年8月 |
| 「日本の四大公害上回る汚染 開発優先、
生かされぬ教訓」 | 『朝日新聞』 | 2002年8月 |
| Asian late bloomers must heed development lessons | <i>International Herald
Tribune Asahi Shimbun</i> | 2002年10月 |
| 『imidas2003』(共著) | 集英社 | 2002年11月 |

大空 博

著書

- | | | |
|----------------------------|-------------------------|---------|
| 「新聞を読み解く手段としてのジャーナリズム」(共著) | 『実践ジャーナリズム読本』
中央公論新社 | 2002年6月 |
|----------------------------|-------------------------|---------|

その他の文筆活動

- | | | |
|--------------|---------------------------|------------|
| 「戦争とジャーナリズム」 | 日本新聞協会ホームページ
『Read Me』 | 2002年1月～現在 |
|--------------|---------------------------|------------|

小木 裕文

論文

- | | | |
|----------------------|---------------------------------|---------|
| 「帰僑作家米軍和馬華文学」 | 粵海橋 第1期
広東省帰国華僑作家聯誼会 | 2002年3月 |
| 「馬來西亞華文教育的発展及其面臨の問題」 | 『新馬華人 伝統与現代の対話』
南洋理工大学中華語言中心 | 2002年6月 |
| 「海外福清社会及其組織網絡」 | 『新世紀学刊』2期
斯雅舎出版 | 2002年9月 |

奥田 宏司

著書

- | | | |
|--------------|---------|---------|
| 『ドル体制とユーロ、円』 | 日本経済評論社 | 2002年5月 |
|--------------|---------|---------|

夏 剛

論 文

日本の中空・「頂空」(頂点の空虚)と中国的「中控・頂控」(中心・頂点に由る支配) 『日本礼法入門』を手掛りとする両国の言説・観念の一比較(3) 『立命館言語文化研究』13巻4号 2002年2月

現代中国の統治・祭祀の「冷眼・熱風」に対する「冷看・熱読」「迎接新千年」盛典を巡る首脳と「喉舌」の2重奏と其の底流の謎解き(1) 『立命館言語文化研究』14巻1号 2002年5月

現代中国の統治・祭祀の「冷眼・熱風」に対する「冷看・熱読」「迎接新千年」盛典を巡る首脳と「喉舌」の2重奏と其の底流の謎解き(2) 『立命館言語文化研究』14巻3号 2002年12月

講演記録

生活風景の中の「文化溝」^{カルチャーギャップ} 衣・食・住・行における日中文化の比較 『立命館土曜講座シリーズ14』立命館人文科学研究所 2002年12月

加藤恒彦

論 文

「グローバリゼーションと黒人 - キャリル・フィリップスの“Crossing the River”とCAMBRIDGE」 『黒人研究』黒人研究会 2002年12月

学会発表

「グローバリゼーションと黒人 - キャリル・フィリップスの“Crossing the River”とCAMBRIDGE」 黒人研究会全国大会シンポジウム 2002年6月

「キャリル・フィリップスの作家形成」 カリブ研究会 2002年9月

「キャリル・フィリップスのCROSSING THE RIVERについて」 黒人研究会 2002年10月

河村(丸岡)律子

論 文

「食の多様性と農業の展開方向」 唐沢敬編著『越境する資源環境問題』日本経済評論社 2002年7月

調査報告

「選ぶ農業を支援する体制づくり - 新規就農者の営農と生活実態に関する調査報告書 - (共著)」 『農政研究資料』第01 - 113号 京都府農業会議 2002年3月

書 評

OECD著, 空閑信憲ほか訳『OECDレポート 農業の多面的機能』 『農業と経済』68巻3号 昭和堂 2002年3月

熊谷苑子著『現代日本農村家族の生活時間 - 経済成長と家族農業経営の危機 - 』 『農林業問題研究』38巻1号 2002年6月

小林 誠

翻訳

- 『地球が生き残るための条件』(共訳) ヴッパタール研究所編 2002年9月
 家の光協会
- デヴィッド・ヘルド『デモクラシーと世界秩序
 - 地球市民の政治学』(共訳) NTT出版 2002年12月
- 学会発表
- 「政治システムの変容としてのグローバリゼーション」 日本平和学会 秋季研究大会 2002年11月
 (広島修道大会)

佐藤 誠

論文

- International Population Movements into and
 from a Globalising Japan
 Philip Nel ed. *State/Society Responses to
 Globalisation: Comparative Perspectives
 from Japan and Southern Africa* Centre for International and
 Comparative Politics, University 2002年
 of Stellenbosch

翻訳

- 『地球が生き残るための条件』(共訳) ヴッパタール研究所編 2002年9月
 家の光協会

Giorgio SHANI

論文

- The Sikhs: a nation, religious community or diaspora Bulletin of the Faculty of Foreign 2002年1月
 Studies, University of Kitakyushu
- Real or Imagined? Student Perceptions of Japanese Bulletin of the Faculty of Foreign 2002年3月
 Identity in Kitakyushu Studies, University of Kitakyushu
- The Territorialization of Identity: Sikh Nationalism Studies in Ethnicity and Nationalism 2002年4月
 in the Diaspora Asen Blackwell

学会発表

- Beyond Khalistan? The Sikh Diaspora and International Studies Association 2002年3月
 International Relations (ISA) Annual Conference
[http://www.isanet.org/noarchive/
 shani.html](http://www.isanet.org/noarchive/shani.html)
- Beyond Westphalia: Sikh Diasporic Identity Theory Conference on Sikhism 2002年9月
 and Critical International Theory and Critical Theory
 Hofstra University, New York.,
 USA

書評

- Community, Empire and Migration: South Asians Nations and Nationalism 2002年1月
 in the Diaspora Vol.8 Part1
 Asen Blackwell

立命館国際研究 15-3, March 2003

Un/Settled Multiculturalisms Nations and Nationalism 2002年4月
Vol.8 Part2
Asen Blackwell

高橋 伸 彰

書 評

スーザン・ジョージ, マーティン・ウルフ「徹底討論
グローバリゼーション賛成/反対」 『週間エコノミスト』 2002年12月
12月10日号 毎日新聞社

その他

「成長政策」より「豊かさ」を 朝日新聞文化欄 2002年11月
朝日新聞社

竹内 隆 夫

論 文

「現代家族への軌跡」 『社会学雑誌』第19号 2002年3月
神戸大学社会学研究会

龍澤 邦 彦

学会発表

商業打上げ活動の国際規制 九州国際法学会 2002年2月

Space Debris in Space Law Hanguk Aviation University 2002年10月

中川 涼 司

著 書

「20世紀の電子情報化と制度補完
21世紀への意味」 仲田正機・夏目啓二編著 2002年8月
『企業経営変革の新世紀』
同文館

論 文

「中国電脳化の最前線」 『力の意志』 サンラ出版 2002年5月
2002年5月号

学会発表

「中国加入世界貿易組織(WTO)対
中国IT産業的影響」 中国信息経済学会 2002年9月

中村 福 治

論 文

「韓国の人権問題」 『人権と部落問題』692号 2002年8月
部落問題研究所

- 翻訳
- 玄基榮著『地上に匙ひとつ』 平凡社 2002年6月
- 中本真生子**
- 論文
- 「アルザスのある家族史：フィリップ・ユセールの家族にみる アルザス人の悲劇」 『立命館言語文化研究』 14巻3号 2002年12月
- 翻訳
- 「アルザス：国境の記憶」 『記憶の場』第1巻 岩波書店 2002年11月
- 書評
- 市村卓彦著『アルザス文化史』を読む 『学鑑』第99巻第8号 丸善書店 2002年8月
- 永田秀樹**
- 著書
- 『歴史の中の日本国憲法』（共著） 法律文化社 2002年4月
- 論文
- 「判例回顧と展望・憲法」 大久保史郎・長岡徹・木下智史・愛敬浩二（共著） 『法律時報』74巻5号 2002年4月
- 「司法制度改革審議会最終意見書について 憲法学の立場から」 『法の科学』32号 日本評論社 2002年8月
- 「衆院議員選挙の小選挙区の区割り基準の規定の合憲性等」 『民商法雑誌』127巻2号 有斐閣 2002年11月
- 西川長夫**
- 著書
- 『戦争の世紀を越えて - グローバル化時代の国家・歴史・民族』 平凡社 2002年7月
- 論文
- 「戦争と文学 - 文学者たちの12月8日をめぐって」 『立命館文学』第573号 2002年2月
- 「民族という錯乱 - 民族論のためのノート」 『立命館言語文化研究』 14巻1号 2002年5月
- 「戦争と文学 - 文学者たちの12月8日をめぐって（再録）」 『坂口安吾論集』越境する安吾』 ゆまに書房 2002年9月

書 評

- | | | |
|---|--------------------|----------|
| 危機的な時代の最前線で - 姜尚中氏の新著三冊を読む
『ナショナリズム』, 『東北アジア共同の家をめざして』,
『ポストコロニアリズム』(編) | 『週間読書人』
読書人 | 2002年2月 |
| イアン・ニッシュ編『欧米から見た岩倉使節団』 | 『学燈』第99巻第10号
丸善 | 2002年10月 |

講 演

- | | | |
|----------------------|--------------|---------|
| 「戦後文学再考 - 9月11日のあとに」 | 野間宏の会 (藤原書店) | 2002年5月 |
|----------------------|--------------|---------|

その他

- | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------------|---------|
| 歴博対談「国民国家の文化の現在」
(西川長夫 + 篠原 徹) | 『歴博』No.111
国立歴史民族博物館 | 2002年3月 |
| 「『国民国家論の射程』韓国版の序」(解説) | 『국민이라는괴물』
(国民という怪物)』
소명(ソミョン)出版 | 2002年3月 |
| 「マルチニックから沖縄へ」(エッセー) | 岩波講座 近代日本の文化史 1
月報5 岩波書店 | 2002年5月 |
| 「国民国家の政治文化」(解説) | 飛鳥井雅道『日本近代精神
史の研究』
京都大学学術出版会 | 2002年9月 |

原 毅 彦

論 文

- | | | |
|---------------|----------------------------------|----------|
| 「回帰するレドゥクシオン」 | 『国立民族学博物館調査報告31
福音と文明の人類学的研究』 | 2002年10月 |
|---------------|----------------------------------|----------|

その他

- | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------|---------|
| 「征服のタンゴ」, 「音楽の果て」,
「おいしいチチャの作られ方」 | 東琢磨編『カリブ・ラテンアメリカ
音の地図』 音楽の友社 | 2002年3月 |
|--------------------------------------|---------------------------------|---------|

姫 岡 とし子

著 書

- | | | |
|---------------|-----------------------------------|----------|
| 「社会経済史とジェンダー」 | 社会経済史学会編
『社会経済史学の課題と展望』
有斐閣 | 2002年8月 |
| 「女性・ジェンダーの近代」 | 歴史学研究会編
『歴史学における文法的転回』
青木書店 | 2002年12月 |

本 名 純

著 書

Military Politics and Democratization in Indonesia London:Routledge 2002年

論 文

- 「支配から参加へ 民主化適応の国軍政治」 佐藤百合編 2002年
『民主化時代のインドネシア
政治経済変動と制度改革』
研究双書No.525
アジア経済研究所
- 「メガワティ政権の政治戦略
2004年に向けての布告」 『インドネシア・メガワティ政権下の
政権運営』 国際金融情報センター 2002年 3月
- 「「裏の大統領」がもたらす政治的不況和音」 『世界週報』 4月23日号 2002年 4月
- 「憲法改正で懸念される政治改革の後退」 『世界週報』 9月3日号 2002年 9月
- 「インドネシア バリ爆弾テロとJI狩り」 『世界週報』 11月19日号 2002年11月
- 「変貌する国軍 軍管区・裏社会・地方紛争」 『Indonesia Alternative Information』 2002年11月
No.48

書 評

白石隆著 『インドネシアから考える：政治の分析』 『海外投融资』 2002年 1月

松 下 冽

論 文

A Theory of International Relations in the Era of Globalization 『立命館国際地域研究』 2002年 3月
第20号

翻 訳

ジェームズ・H・ミッテルマン 『グローバル化
シンдрローム』(共訳) 法政大学出版社 2002年

南 野 泰 義

論 文

「北アイルランドにおける「政治的暴力」と
テロリズム 武装解除問題をめぐって」 『グローバル化と現代国家』 2002年 3月
御茶の水書房

その他

「北アイルランドにおけるカトリック系住民の
政治行動に関する調査」 『科学研究費補助成果報告書』 2002年 3月
(2001年度)

森 岡 真 史

論 文

「初期ソヴェト政府の銀行政策」 『比較経済体制研究』 第 9号 2002年 5月

立命館国際研究 15-3, March 2003

書 評

松尾匡著『近代の復権』 『経済科学通信』第98号 2002年4月

山 形 英 郎

論 文

A New Century of the Japan-US Defence Cooperation for the Far Eastern Security: An Analysis of the New "Guidelines" in the Light of International Law 『立命館国際地域研究』第20号 2002年3月

International Law for the New Millennium: Overview (共著) 『立命館国際地域研究』第20号 2002年3月

Historical Overview of Prohibition of Use of Force 『立命館国際地域研究』第20号 2002年3月

学会発表

9.11以降の国際法の世界：単独主義国際法理論の台頭 民主主義科学者協会法律部会学術総会 2002年11月

Self-Defence against the *Terrorist Attacks* on September 11, 2001 American University - Ritsumeikan University - Korea University Symposium 2002年11月

その他

ラグラン事件 『国際人権』（国際法学会年報）第13号 2002年11月

若 菜 マ ヤ

研究発表

Jamesian Madness in *The Spoils of Poynton* The Group for Early Modern Cultural Studies 2002年11月

Michel WASSERMAN

その他の文筆活動

CHANTS DU JAPON (共著) EDITIONS NOTISSIMO (LYON) 2002年11月